

第2回多治見市第7次総合計画策定市民委員会 会議録

| | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 平成27年3月26日(木) 午後6時00分～午後8時20分 |
| 会 場 | 多治見市役所駅北庁舎 4階 災害対策本部室 |
| 出席委員 | 古池嘉和委員(会長)、木下貴子委員(副会長)、飯野真理子委員、伊藤浜三委員、宇佐見信一委員、奥村崇仁委員、隈元智子委員、小池雅子委員、竹本幸二委員、堀尾憲慈委員、前田市朗委員、宮村登美子委員、山田輝幸委員、吉田有記委員、若尾由美江委員 (委員15名中15名出席) |
| 欠席委員 | なし |
| 事務局 | 青山企画部長、打田企画部次長、桜井課長、岩島課長代理、長谷川総括主査、水野総括主査、山内総括主査、御前主査、林主任 |
| 傍聴人 | 2名 |
| 会議録要旨 | |
| 1 | 開会あいさつ(古池会長あいさつ) |
| 2 | <p>議題(1): 第1回市民委員会会議録について</p> <p>事務局 資料1「第1回市民委員会会議録」について事務局から説明 会長 修正すべき点等あれば指摘を求める。 《なし》 会長 第1回市民委員会会議録とする。</p> |
| | <p>議題(2): 総合計画策定スケジュールについて</p> <p>事務局 資料2「第7次総合計画策定スケジュール」に沿って、事務局から説明 会長 何か質問はあるか。 《質疑なし》</p> |
| | <p>議題(3): 未来提言会議開催概要(報告)</p> <p>事務局 資料3「未来提言会議開催概要(報告)」に沿って、事務局から説明 会長 何か質問はあるか。 《質疑なし》 会長 今後、この未来提言会議の提言はどのように取り扱うのか。 会長 提言書としてまとめ、再度報告する。</p> |

議題（４）：「討議課題集」について

第３章 １ 第６次総合計画の成果

２ 多治見市はどのような都市を目指すのか

(1) 脱「消滅可能性都市」への取組

(2) 多治見市を鳥瞰的な視点により

(3) 多治見市の将来に大きな影響を与える５つの課題

会長 第１回策定市民委員会において、討議課題集の第１章・第２章について説明済みであるため、第３章以降について説明を求める。

事務局 資料４「第７次総合計画策定 討議課題集」の第３章「１ 第６次総合計画の成果」「２ 多治見市はどのような都市を目指すのか」を事務局から説明

会長 行政が全てサービスを提供するのは難しい時代かもしれない。

委員 日本全国と比較し、人口や行政サービスなど多治見市は良いのか悪いのか教えていただきたい。

事務局 東濃５市での比較となるが、多治見市・瑞浪市・恵那市の３市が消滅可能性都市となり、土岐市・中津川市は消滅可能性都市とはならなかった。しかし、いずれも人口は減少し、大都会圏のみが人口が増加している。行政サービスの他市比較については、討議課題集の「政策分野別の成果と課題」の図表などに掲載している。

会長 数値として比較はできないと思うが、第１回策定市民委員会で多治見市は子育て環境が整っているという意見があったが、どのような状況であるか。

事務局 子育て環境の充実として、中学３年生での３０人程度学級を実施し、今後、中学２年生での３０人程度学級を検討中である。また、障がいを持つ児童生徒への教育にも、職員数を増やすなど取り組んでいる。

委員 事前に討議課題集を見ていて、図表 3-38（製造業製造品出荷額の近隣都市比較）を見ると、人口規模がほぼ同じ可児市と比較し４分の１、人口規模の小さい中津川市と比較し２分の１以下であり、多治見市の経済規模は小さいのか。

事務局 図表 3-38 の製造品出荷額は、第２次産業の出荷額のみであり、多治見市で比率の高い第３次産業の小売等は含まれていない。単純にこの差が、経済規模の比較とはならない。

委員 第２次産業の比較であり、経済規模の比較ではないとのことであるが安心した。しかし、実感として他市と比べ多治見市に経済的な勢いがないように感じるが、多治見市はどのように捉え、どの方向に向かっていくのか。

会長 どの方向に向かうかについては、この市民委員会で議論したい。

2 多治見市はどのような都市を目指すのか

(4) 政策分野別の成果と課題

[政策分野] 教育・文化

事務局 資料4「第7次総合計画策定 討議課題集」の第3章[政策分野] 教育・文化を事務局から説明

委員 中学生の少人数学級について説明していただきたい。

事務局 多治見市独自の事業として、高校受験を控えた進路などの悩みをサポートするため中学3年生の少人数学級をスタートさせた。その後、岐阜県の事業として、小学生から中学生へと変わる環境の大きな変化をサポートするため中学1年生の少人数学級を行った。

委員 現状では、中学2年生が一番問題を抱える学年であり、人数が1年生と比べて増えることで教員の負担が大きい。中学2年生にも、教員の目が行き届くように少人数学級を実施してほしい。

郷土を愛する意識の低さを課題として挙げているが、大人の姿を見せることも意識を変える一つだと思う。学校と地域それぞれができることと連携できるとよい。職場体験等を通じて先生以外の大人の姿を見せることも大事なことだ。

障がいの有無にかかわらず同じ社会で関わりながら生きていくので、一緒に生活するということが大切に、インクルーシブ教育を進めてほしい。立場が弱いと考えがちだが、障がいのある人の視点でできるまちづくりを考えると、誰でも住みやすいまちになると思う。周りの人が障がい者について正しい知識を持つためにも、インクルーシブ教育を推進してほしい。

委員 障がい児と接する機会を増やすためにも、インクルーシブ教育は重要と考える。加えて、卒業後の就労支援等も課題として挙げられるのではないか。

事務局 [政策分野] 保健・医療・福祉 3 福祉 「②障がい者の自立支援」の課題で取り上げている。次回、[政策分野] 保健・医療・福祉の事務局説明の際に詳細を説明させていただく。

委員 子どもの貧困について説明してほしい。

事務局 貧困についての多治見市独自のデータについては今後担当課によって調査を行うこととしているが、子どもの貧困対策の推進に関する法律では、子育て家庭に貧困世帯が多いとされ、教育支援、学習支援、生活支援等が盛り込まれている。討議課題集の図表 3-32 (全児童生徒に占める準要保護児童生徒就学援助給与者の割合) は、生活保護に準ずる家庭に給食費等の支援を行う準要保護制度の割合であり、児童生徒のいる世帯の経済状況を全体として把握するデータとして参考となる。他国と比べて日本の子

どもの貧困率が高く、増加傾向にあるため課題としている。

会長 焼物のまちであるので、手に職を持つ職人からの教育などの視点が必要である。

委員 インクルーシブ教育の推進には、教員のスキルが重要である。現在、どのような取組を行っているか。

事務局 新たな取組として、専門家チームを学校に派遣し、教員にアドバイスしたり、教員には特別支援学校の免許取得を促したりしている。

委員 教員は非常に多忙と聞く。教員の労働環境も考える必要がある。
郷土を愛する意識が低い課題は、子どもが多忙であることが原因ではないか。

委員 部活動は人間形成に重要だと考えていたが、部活動の大半がクラブ活動に変わったことにより、部活動で人間形成をする時間が短くなったと感じる。クラブ活動化は多治見市だけが行ったのか。また、クラブ活動に変えたことによるメリット・デメリットはあるのか。

会長 時間に限りがあるので、質問や意見をまとめ、次回の策定市民委員会で説明いただくこととする。

2 多治見市はどのような都市を目指すのか

(4) 政策分野別の成果と課題

[政策分野] 産業経済

事務局 資料4「第7次総合計画策定 討議課題集」の第3章[政策分野] 産業経済を事務局から説明

委員 企業誘致の雇用成果はどのようなか。

事務局 図表 3-37（市税収入の推移）のように、平成24年度から平成26年度の固定資産税での増加分などから2億円程度の増額があったと考えている。

図表 3-25（有効求人倍率の推移）のように、パートのような非正規雇用では成果があがったと考えるが、一般のような正規雇用まで成果があがっているとは言い難い。

委員 小売業の販売額はわかるか。

事務局 小売業の販売額は次回説明させていただく。

委員 企業の域外流出があれば、その理由も含め教えていただきたい。

事務局 企業名などは公表できないが、平成17年頃に所有する土地が市街化調整区域であったため恵那市に移転した企業がある。

委員 課題に挙げられた「多様な誘致活動のあり方」とは何を考えているか。

事務局 空き工場、オフィスビルの空き室等への誘致活動である。

委員 観光は、地場産業の盛り上がりにもつながるので重要である。

観光の課題に挙げられたように、点だけでなく面的な観光地形成は重要であるが、東濃5市だけでなく、下呂や金沢、中部8県など広く考えなければ海外からの観光誘客はできない。

多治見市は、宿泊や食事の施設が少ない。仕出し弁当を公民館で提供するなどできないか。

トヨタの研修センターを利用する人に観光していただく工夫や、和食や美濃和紙のように美濃焼も世界文化遺産に加えられるように取り組んではどうか。

委員 行政と商工業の組合との連携が十分ではないのではないか。

さかづき美術館、美濃焼ミュージアム等施設が集積されておらず自家用車でないと回れない。

駅を降りても美濃焼のまちといった雰囲気が感じられない。

美濃焼の将来的な課題について討議する「美濃焼みらい会議」が設置されたが、現場との連携が十分ではないように感じる。また、美濃焼祭と美濃焼卸センターの祭が同日開催で、観光客を相互に誘導することができていないように感じる。

会長 時間に限りがあるので、質問や意見をまとめ、次回の策定市民委員会で説明いただくこととする。

3 その他

事務局 第3回多治見市総合計画策定市民委員会は4月7日（火）に開催する。
第4回多治見市総合計画策定市民委員会は日程調整について。

《委員間で日程調整》

会長 第4回多治見市総合計画策定市民委員会は4月27日（月）に開催する。

<会議終了>